

平成27年度 第7回

三重県伊勢志摩サミット推進本部会議

事項書

日時 平成27年11月13日(金)

9:00~9:20

場所 プレゼンテーションルーム

1 各委員会、各部局からの報告

- (1) 防災・危機対策の取組状況について(防災対策部)【資料1-1】
- (2) 保健・医療対策委員会の取組について(健康福祉部)【資料1-2】
- (3) コンビニエンスストア等の屋外ごみ箱を店内に移設する取組について
(廃棄物対策局)【資料1-3】
- (4) 伊勢志摩サミット開催記念料理フェア等について
(農林水産部)【資料1-4】

2 伊勢志摩サミット推進局からの報告

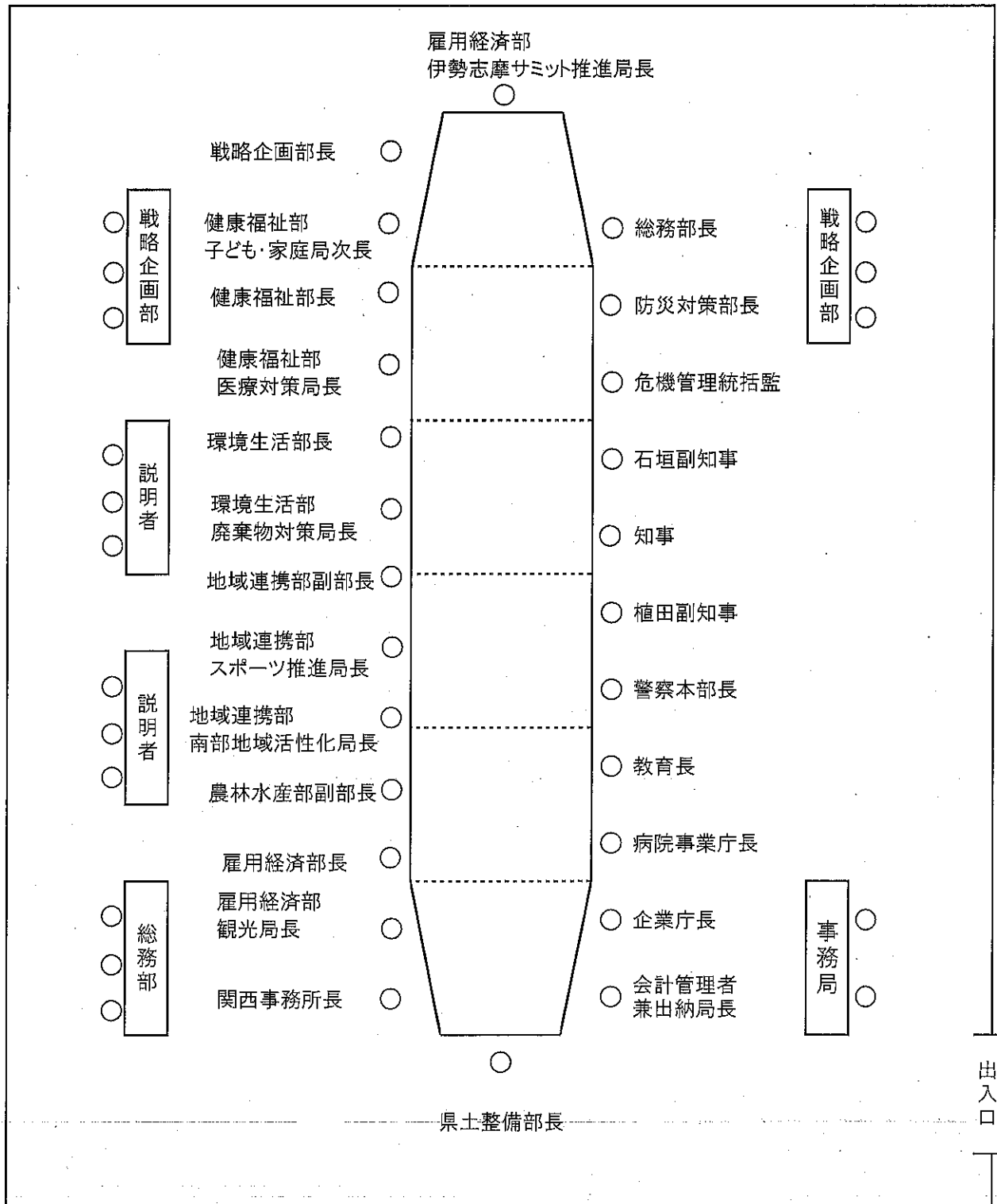
- (1) 住民懇話会の開催について【資料2】
- (2) 国際理解・国際交流プログラム等について【資料3】
- (3) 東京での駐日外交団、プレス等に対する情報発信について【資料4】
- (4) 県民会議主催のプレスツアーについて【資料5】
- (5) ジュニアサミットの三重県開催の決定について【資料6】
- (6) 協賛、応援、寄附の申込状況等について【資料7】
- (7) 東海会議について【資料8】
- (8) 東海三県一市知事市長会議を受けて【資料9】
- (9) その他
・全体スケジュールについて【資料10】

【配布資料】

- ・ 資料 1-1 : 防災対策部説明資料
- ・ 資料 1-2 : 健康福祉部説明資料
- ・ 資料 1-3 : 廃棄物対策局説明資料
- ・ 資料 1-4 : 農林水産部説明資料
- ・ 資料 2 : 住民懇話会の開催について
- ・ 資料 3 : 国際理解・国際交流プログラムの実施について
- ・ 資料 4 : 伊勢志摩サミットに向けた東京での駐日外交団、プレス等に対する情報発信について
- ・ 資料 5 : 県民会議主催のプレスツアーについて
- ・ 資料 6 : ジュニアサミットについて
- ・ 資料 7 : 協賛、応援、寄附の申込状況等について
- ・ 資料 8 : 伊勢志摩サミット東海会議について
- ・ 資料 9 : 「伊勢志摩サミット」開催に向けた東海三県一市の取組に関する要望
- ・ 資料 10 : 伊勢志摩サミットに向けた全体のスケジュール

平成27年度第7回三重県伊勢志摩サミット推進本部会議 座席表

プレゼンテーションルーム



三重県伊勢志摩サミット推進本部「防災・危機対策委員会」の体制

資料1-1

防災対策部

【組織体制図】

サミット推進本部

【平成27年7月14日設置】

防災・危機対策委員会 (防災対策部)

委員長： 防災対策部長
 副委員長： 防災対策部副部長
 委員： 防災対策部次長、危機管理副統括監、コンピナート防災監、防災対策総務課長、消防・保安課長、防災企画・地域支援課長、災害対策課長、危機管理課長

保健・医療対策委員会

消防特別警戒 連絡協議会

防災・危機対策 関係機関連絡会議

県・市町 災害対策会議

「保安」重点立入調査の実施

総務省消防庁
 消防・救急対策委員会
 (警防部会・予防部会)

【構成】

【消防関係機関】 消防特別警戒連絡協議会

県防災対策部
 県内15消防本部

【防災関係機関】 防災・危機対策関係機関連絡会議

県防災対策部・雇用経済部(伊勢志摩サミット推進局)・
 県土整備部・健康福祉部(医療対策局)
 県警察本部
 志摩市(総務部地域防災室)
 消防本部(四日市・志摩広域)
 自衛隊
 海上保安庁

【関係市町】 県・市町災害対策会議

県防災対策部・南勢志摩地域活性化局
 志摩市総務部地域防災室
 伊勢市危機管理部危機管理課
 鳥羽市総務課危機管理室
 南伊勢町防災課



平成 27 年 11 月 13 日

防 災 対 策 部

伊勢志摩サミットに向けた防災・危機対策の対応状況について

1 防災・危機対策の推進体制

伊勢志摩サミットの円滑な実施に向け、防災・危機対策に万全を期すことにより、サミット出席者、関係者及び地域住民らに安全・安心を提供します。

(1) 三重県伊勢志摩サミット防災・危機対策委員会の設置

伊勢志摩サミットの円滑な実施に向け、三重県伊勢志摩サミット推進本部の下に委員会を設置し、防災対策部が主体となって防災・危機対策を推進します。

部幹部出席のもと、原則毎週開催し、進捗状況の共有や今後の対応方針の協議を行っています。

また、当委員会のもとに次の協議会や会議を設置し、防災・危機対策の具体的な検討や連絡調整等を図っています。

① 三重県伊勢志摩サミット消防特別警戒連絡協議会

伊勢志摩サミットの消防特別警戒を円滑に推進することを目的に、県内消防機関の連携を図る組織として設置し、国が設置した伊勢志摩サミット消防・救急対策委員会との連携のもとに具体的な検討を進めています。

県内 15 消防本部出席のもと、原則毎月開催しています。

② 三重県伊勢志摩サミット防災・危機対策関係機関連絡会議

伊勢志摩サミットの防災・危機対策を円滑に推進することを目的に、関係機関の連携を図る組織として設置し、連絡調整及び情報共有を図っています。

自衛隊や警察本部、海上保安本部、消防本部等出席のもと、原則毎月開催しています。

③ 三重県伊勢志摩サミット県・市町災害対策会議

伊勢志摩サミット開催時における風水害、地震・津波等の自然災害対策を推進することを目的に、県及び関係市町の連携を図る組織として設置し、連絡調整及び情報共有を図るとともに、必要な取組を検討します。

地元市町や県地域機関出席のもと、原則毎月開催しています。

(2) 組織の整備（サミット対策班の設置）

伊勢志摩サミットの円滑な実施に向け、上記に掲げる委員会及び協議会等の運営等を行う組織を防災対策部内に整備（消防・保安課サミット対策班を設置）し、防災・危機対策を推進しています。

2 消防特別警戒の状況

(1) 概要

① 消防特別警戒とは

警戒対象施設（サミット会議場、首脳等宿泊施設、メディアセンターなど）における火災等の未然防止と、サミット期間中の予防警戒や災害発生時の消防活動（消火・救急・救助等）に万全を期するための体制の構築や活動です。

② 消防特別警戒の内容

○警防（計画の策定と活動）

サミット期間中の災害発生時の警防活動（消火・救急・救助等）に万全を期す体制、活動、訓練等の計画を策定し、有事、平時の活動及び準備を行います。

○予防（計画の策定と活動）

サミットの防火安全対策（関係施設等の事前査察や訓練指導、期間中の予防警戒活動等）に万全を期す体制、活動、事前査察等の計画を策定し、有事、平時の活動及び準備を行います。

（2）現在の状況

① 計画の策定状況

国（総務省消防庁）の「伊勢志摩サミット消防・救急対策委員会」及びその下部組織である関係部会（警防部会、予防部会）において、警防及び予防にかかる計画の策定や必要な事項の検討が行われています。

② サミット期間中の消防特別警戒体制の構築

サミット期間中、統括警戒本部－地区警戒本部－現地警戒本部を設置して、警戒体制を構築します。

（ア）統括警戒本部 ⇒ サミット主会場周辺に設置する統括本部

（イ）地区警戒本部 ⇒ サミット会議場、首脳等宿泊施設、空港、国際メディアセンター等の施設が所在する地区に設置する地区本部

（ウ）現地警戒本部 ⇒ 警戒施設等において災害時に即座に対応する現地本部

③ サミット開催までの訓練等の実施

国（消防庁）及び関係消防本部と調整のうえ、今後しかるべき時期に、関係施設の事前査察（立入検査）や訓練、訓練指導を実施する予定です。

3 自然災害対策

（1）DONETを活用した南海トラフ地震対策

DONETの観測情報を伊勢志摩サミットの南海トラフ地震対策に活用するため、以下の対策を講じるためのシステム（名称：「地震・津波観測監視システム(DONET)を活用した津波予測・伝達システム」、以下「津波予測・伝達システム」という。）を三重県庁等に整備します。

また、サミットを通じて、DONETを広く国内外にPRする機会とします。

① 緊急速報メールの発信

DONETが熊野灘沖の観測地点で基準を超える津波を観測すると同時に、伊勢志摩地域の住民等に緊急速報メールで津波を観測したことを伝え、速やかな避難を促すとともに、津波の観測が継続している間は、繰り返し、避難を続けるよう促します。

② 津波到達予測情報の把握

伊勢志摩地域への津波到達時間や津波高、津波浸水予測等の情報を地震発生とともに予測し、県庁や伊勢庁舎等のモニターに表示させることで、被災状況を速やかに把握し、関係機関への的確な情報提供が行える体制を構築します。

(2) 三重県伊勢志摩サミット県・市町災害対策会議における取組

サミット開催時に南海トラフ地震による揺れ・津波が発生した場合を想定し、観光関連事業者が主体となった防災・減災対策の実施につなげるため、以下の取組を実施します。

なお、これらの取組については、一過性のものに終わらせることなく、サミット終了後も、伊勢志摩地域を訪れる観光客のための防災・減災対策として活用することを念頭に置いて実施していきます。

① 観光関連事業者を対象とした研修

観光関連事業者(特に宿泊施設)の防災意識の向上と対策のレベルを高めるための、研修を実施します。研修は、市町単位で1回ずつ開催するものと、市町のなかで、地域や団体ごとにマニュアル等の作成に向けた具体的な取組を行うものに分けて実施します。

② 従業員向けマニュアル及び津波避難マップ

観光客の避難対策のために、主に宿泊施設の従業員が、事前に必要な知識を備え、訓練等の対策を実施するためのマニュアルや、宿泊客を安全に避難させるために必要な津波避難マップを作成します。

③ 避難訓練の実施

従業員向けのマニュアルや津波避難マップを活用した避難訓練を実施することにより、知識や技能を実践的に吸収するとともに、対策の検証を行って、災害対応の実効性を高めます。

また、訓練実施にあたっては、津波予測・伝達システムに基づく緊急速報メールの運用を兼ねた訓練の実施も検討しています。

④ 防災情報を活用した避難誘導體制の整備等

観光地の地理に不案内である観光客が、迅速かつ確実に避難できるよう、避難誘導看板等の整備を進めます。一方、避難誘導看板は、観光地の景観の保護と競合する側面があることから、スマートフォン用のアプリやWEBサイト等によるハザードマップや避難所等の避難情報の提供や、避難誘導を行うシステムの構築など、ICTの活用によって補っていく取組も併せて実施します。

その他、従来から実施している、風水害等の災害発生時に想定される観光客の帰宅困難者対策の取組について、地域の観光事業者や観光関係団体等が市及び県と連携しながら、帰宅困難者ワークショップや図上訓練などを実施するとともに、外国人観光客の受け入れ環境向上のための、「案内表示ピクトグラム」や「災害時コミュニケーションカード」などについて、本取組を通して活用を進めていきます。

4 「保安」重点立入調査の実施

(1) 趣旨

伊勢志摩サミットに向けて、高圧ガスや火薬類等に関する保安確保のため、開催地域及びその周辺地域を対象として、重点立入調査を実施します。

併せて、事業者に対するサミット対策にかかる保安の啓発も行います。

※ 対象法令：高圧ガス保安法、火薬類取締法、液石法（液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律）

(2) 対象地域

志摩市（サミット開催市）及び伊勢市・鳥羽市・南伊勢町（開催地の隣接市町）

※ 国からの要請等によりエリア拡大の可能性もあるが、基本は当該地域のみを対象

(3) 実施時期

平成27年11月から平成28年5月まで

H27.11～H28.1 対象地域の該当事業所を立入調査

H28.2～H28.3 指導改善が必要な事業所への再立入調査

(H28.4～H28.5 サミット会場など主要箇所を重点的に立入調査)

(4) 立入対象事業所数及び立入調査体制

・本庁所管

47件 消防・保安課職員が対応

・地域事務所所管

130件 南勢志摩地域活性化局が中心となり、他の8地域事務所と協力して対応

三重県伊勢志摩サミット保健・医療対策委員会の取組について

1 三重県伊勢志摩サミット保健・医療対策委員会

伊勢志摩サミットの円滑な実施に向け、平成27年7月14日に三重県伊勢志摩サミット推進本部の下に保健・医療対策委員会を設置したところです。

また、これまで2回の委員会を開催し、各対策班の取組の進行管理と対応協議を行うとともに、各対策班において、具体的な検討や調整等を行っているところです。

各対策班の取組(今後の予定等)については、次のとおりです。

2 食品衛生対策について

(1) 監視指導計画に基づく監視指導等

伊勢志摩サミット食品監視指導計画及び生活衛生監視指導計画を策定中です。

今後、この計画に基づき、以下の事項について、県内の食品関係施設等を対象に監視指導等を実施します。

- ア 食品関係施設、宿泊施設の監視指導
- イ 食品の検査
- ウ 食品衛生講習会の開催 等

(2) 食品事業者を対象としたセミナーの開催(関係団体等と連携)

- ア 平成27年10月28日 志摩市で開催(約200名参加)
- イ 平成27年3月10日 伊勢市で開催予定

3 感染症・医薬品対策について

(1) 血液製剤の供給対策

- ア 血液対策推進連絡調整会議(仮称)の開催
関係機関とサミット開催期間中の血液製剤の在庫量、備蓄場所及び緊急輸送体制の整備について協議予定です。(平成27年12月以降)

(2) 医薬品等の供給対策

- ア 医薬品対策連絡調整会議(仮称)の開催
県内の医薬品卸売業者等で構成する医薬品対策連絡調整会議と供給体制について協議予定です。(平成27年12月以降)
- イ 医薬品卸売販売施設等を対象に、サミット開催期間中の解毒剤の備蓄状況調査を実施しています。(平成27年10月～12月)

(3) 毒物劇物対策

- ア 毒物劇物取扱施設の監視を実施(平成28年1月～4月)
- イ 毒物劇物取扱施設に対する通知の発出及びパンフレットの配布
(平成28年1月～4月)
- ウ 毒物劇物の取扱いに関する講習会の開催(平成28年2月開催予定)

(4) 感染症情報の収集体制整備

ア 強化サーベイランス

(ア) 感染症発生動向調査を実施します。(平成 28 年3月以降)

(イ) 症候群サーベイランス

学校・保育所サーベイランス、薬局サーベイランス及び一般医薬品サーベイランスの継続と救急搬送サーベイランスの新設について調整中です。

(ウ) 強化期間の設定

平成 28 年3月上旬から平成 28 年6月上旬(予定)

※サーベイランスとは、感染症の発生状況を調査・集計することにより、予防や感染拡大防止対策に役立てるシステムのことです。

イ 患者発生時の搬送及ぶ感染拡大防止対策の強化

(ア) 1類、2類感染症患者の搬送

感染症移送車、個人防護具の配備 (平成 28 年4月以降)

(イ) 感染症指定医療機関の受け入れ調整 (平成 28 年1月以降)

(ウ) 感染症集団発生時の医療の確保 (平成 28 年1月以降)

ウ 感染症予防対策

サミット会場及び主要施設や会場周辺の宿泊施設等に対して、感染症予防等に関するチラシを配布し注意喚起を行います。(平成 28 年4月～5月)

4 救急医療対策について

(1) 緊急医療体制の整理および国との役割分担の検討

厚生労働省は、専門家の意見を聴きながら、医師チームの派遣など、緊急医療体制の基盤整備について検討しています。

県は、国と連携しながら、県内の医療機関等との調整を行うこととしています。

(2) 緊急医療体制の基本的な情報共有および県内外の医療機関等との調整

県内の医療機関に加え、行政、警察、消防等とも緊急医療体制に関連する情報を共有しながら、体制構築を進めています。

また、必要に応じて、県外医療機関との調整も並行して実施します。

(3) 訓練等

厚生労働省が医療関係者、消防等を対象にしたNBC災害・テロ対策研修を三重大学において実施する予定です。(平成 27 年 12 月開催予定)

5 水道対策について

(1) 市町水道施設及び広域水道施設

市町が管理する水道施設について、自主点検の実施とともに、関係市町に対して監視強化計画の作成を依頼しています。

ア 伊勢志摩サミット水道対策連携会議開催（平成 27 年 9 月 28 日、10 月 30 日開催）

- ・ 市町水道施設の点検依頼
- ・ 市町水道施設の監視強化計画作成依頼
- ・ 危機管理マニュアル事例の提示
- ・ 4 市町（志摩市、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町）とのワーキング（11 月下旬予定）

イ 広域水道施設の点検

企業庁は、浄水場及び管路等について点検等を実施するとともに、既存の危機管理マニュアルの確認を行っています。

ウ 対策要領・危機管理マニュアルの整備

関係市町に共通する危機管理対応の方針について、これまでの事例等を参考にして作成し、今後、市町等に情報提供していきます。

(2) 会場、宿泊施設等

会場や宿泊施設における衛生的環境の確保について点検・指導を行います。

ア 対象施設

- ・ 南勢志摩管内の宿泊施設のうち、特定建築物（床面積3千㎡以上）に該当する施設
- ・ 桑名管内の宿泊施設のうち、特定建築物に該当する施設

イ 監視指導項目

給水施設、空気環境の管理状況等

ウ 実施時期

平成 27 年 12 月から平成 28 年 1 月末までを目途に実施します。

コンビニエンスストア等の屋外ごみ箱を店内に移設する取組について

平成 27 年 11 月 13 日
廃棄物・リサイクル課

1. 取組の背景と目的

伊勢志摩サミットを契機とした集客交流の活性化により、伊勢志摩地域のごみ排出量の増大が懸念されるところですが、伊勢志摩サミット開催期間中は、警備上の問題からごみ箱の撤去等使用禁止の措置が想定され、ごみ箱が使用できないことによる利用者の混乱やごみの散乱のおそれがあります。

特に、コンビニエンスストア等の店頭に設置されたごみ箱は、家庭ごみの持ち込みやごみが分別されずに捨てられるなどの事例があることから、これら店頭に設置されたごみ箱の店内移設により、ごみの散乱の防止と分別の徹底によるごみの資源化の促進を図り、資源循環型の地域づくりを目指します。

2. 取組の概要

伊勢志摩サミットを契機に、伊勢志摩地域をモデル地域として市町及びコンビニエンスストア等との協創により、店舗の屋外ごみ箱を店内に移設する取組を進めます。

3. 取組開始時期

平成 27 年 11 月からモデル地域（伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町）のコンビニエンスストア等において順次実施していきます。

4. 参画団体等の取組

(1) ごみ箱の店内移設

コンビニエンスストア各社の店舗など

主な取組企業（50 音順）

- ・株式会社サークルKサンクス
- ・株式会社ファミリーマート
- ・ミニストップ株式会社
- ・株式会社ローソン

(2) 普及啓発

伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、三重県においてチラシやホームページ等を使用した広報活動を行います。

5. その他

- ・コンビニエンスストア業界では、新規店舗等において、ごみ箱を店内に設置する動きがあります。
- ・伊勢志摩地域では、サミット開催後も本取組を継続するよう提案しています。
- ・本取組効果を踏まえ、県内の他地域にも展開していきたいと考えています。

みえフードイノベーション伊勢志摩サミット開催記念企画

伊勢志摩サミット 開催記念料理フェア Vol.1

平成27年11月1日(日)～平成28年5月29日(日)

サミット会場予定地の賢島(三重県志摩市)

1 中国名産しらかわ
2 くれすとらん関亭
3 津みやひ
4 美豚本店
5 新割烹(袖字)
6 ぶらでっ亭
7 大喜
8 団形船おきた
9 磯っ子
10 丸魚食堂
11 あかすえりす
12 焼肉レストラン奥田
13 鬼が森センター
14 游園

平成28年5月26日・27日に開催される伊勢志摩サミットを記念し、世界中からここ三重県の地へ訪れる方々をおもてなしの心でお迎えするため、その店の「イチオシ」メニューを提供いたします。

■写真、地図上の位置はイメージです。 ■提供内容等は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。
 ■当企画に関するお問い合わせ先 三重県農林水産部フードイノベーション課 TEL: 059-224-2391 / E-mail f-innov@pref.mie.jp

みえフードイノベーション で検索

伊勢志摩サミット開催記念料理フェア Vol.1 参加店舗

1 中国名菜 しらかわ 亀山市みずほ台14-318
TEL: 0595-83-0397



伊勢志摩サミット開催記念料理
三重県おもてなしコース (5,400円)
三重県ならではの食材である伊勢海老やみずびエ(鹿肉)、はなびらたけなどを堪能できるコースです。サミットの成功を願い、食材同士が協力し合い、美味しさを最大限に引き出されるよう仕立てました。
◆営業時間 17:00~22:00
◆定休日 水曜日

2 名阪関れすとらん関亭 亀山市関町萩原39番地
TEL: 0595-97-8555



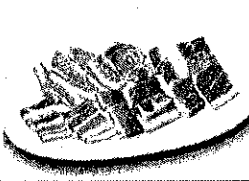
伊勢志摩サミット開催記念料理
伊勢志摩御膳 (1,620円)
伊勢志摩の最も有名な郷土料理の一つ。これ寿司に、同じく伊勢志摩の「ブランド」食材である三重真潮を使用しました。その三重真潮の天然蘇と伊勢うどん、あおさり味噌汁もセットになっています。
◆営業時間 11:00~18:00 (土日 祝日は~19:00)
◆年中無休 (12/15のみ休業)

3 しゃぶしゃぶと 津みやび 津市羽所町700ホテルグリーンパーク津2F
TEL: 059-213-2111



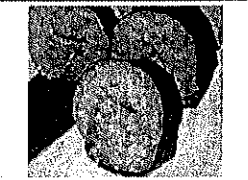
伊勢志摩サミット開催記念料理
伊勢志摩御膳 (2,500円)
伊勢志摩の特産品と郷土料理が満載の御膳です。ボリュームもたっぷり、これ寿司に伊勢うどんも付けています。さらに揚げたて熱々の鳥羽産牡蠣フライを料理長特製のタタキソースでお召し上がりください。
◆営業時間 11:00~14:00、17:00~22:00 (LO21:00)
(日曜祝日は~21:00 (LO20:00)) ◆定休日 水曜日

4 美豚本店 松阪市日野町10 ヘルタウン1F
TEL: 0598-21-0828



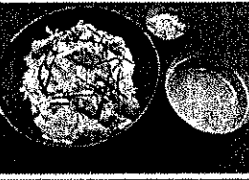
伊勢志摩サミット開催記念料理
プレミアム松阪豚7種盛 (1,382円)
通常より飼育期間が長く、上品な脂が絶品の「プレミアム松阪豚」。『2013みずびエセレクション』にも選定されたローズをはじめ、希少部位も含めた7種類の部位を一度に味わえるセットとなっています。
◆営業時間 17:00~22:00
◆定休日 水曜日

5 新割烹 柚子 伊勢市御園町長屋1983-1
TEL: 0596-27-1754



伊勢志摩サミット開催記念料理
鱈沢巻き (さわたくまき) (1,000円)
伊勢の郷土食である伊勢漬物と、鳥羽で取れた鰯、桃取産焼き海苔を、日本食の代表である寿司にしました。世界各国から集まる方々に伊勢志摩の良さを感じていただきます。
◆営業時間 11:30~14:30、18:00~21:30
◆定休日 水曜日

6 伊勢安土桃山 よってっ亭 伊勢市二見町三津1201-1
TEL: 0596-43-2300



伊勢志摩サミット開催記念料理
天下統一丼 (1,000円)
三重県産の地鶏と卵、コシヒカリを使っています。皆が一つになって、平和な世界ができるよう願いを込めて作りました。鶏は伊勢の郷土料理・伊勢うどんのタレに漬けています。
◆営業時間 10:00~15:00
◆年中無休 (2月に3日間休業あり)

7 割烹 大喜 伊勢市岩渕2-1-48
TEL: 0596-28-0281



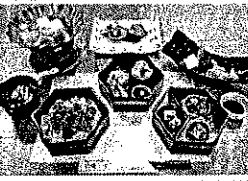
伊勢志摩サミット開催記念料理
伊勢春慶サミット弁当 (5,400円)
伊勢海老、鮎など、伊勢志摩の最高の食材を手軽にお召し上がりいただけるよう、春の内形式に仕上げました。器も「伊勢春慶」の二枚皿に上品に盛り込んであります。
◆営業時間 11:30~14:30、18:00~21:30
◆定休日 水曜日

8 屋形船 おきた 鳥羽市鳥羽1-2383-51
TEL: 0599-25-7133



伊勢志摩サミット開催記念料理
屋形船 海女コース (6,264円)
伊勢エビやさざえ、タコ、あおさなど、伊勢志摩の海の幸をふんだんに使ったコースとなっています。伊勢志摩国立公園の景色を眺めながら、海の上という非日常をお楽しみください。
◆営業時間 11:30~20:30
◆年中無休

9 志摩の喰い処 磯っ子 志摩市阿児町鶴方1998-12
TEL: 0599-43-4511



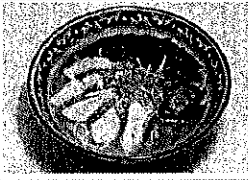
伊勢志摩サミット開催記念料理
伊勢志摩サミット! 里海御膳 (3,310円)
伊勢志摩の最も有名な郷土料理の一つ。これ寿司と同じく旬の食材を三重県に詰め、三重県から世界へ発信していきます。要予約。1日限定20席。使用食材は季節により変更します。
◆営業時間 11:00~14:00、16:30~22:00
◆定休日 月曜 (祝日の場合、変更あり)

10 丸魚食堂 度会郡南伊勢町船越2818-5
TEL: 0599-66-1222



伊勢志摩サミット開催記念料理
焼き物定食 (1,300円)
トロボンボの刺身や焼き貝、あさりとおおさの味噌汁など、伊勢志摩の新鮮な魚介類をふんだんに使った、磯の香りいっぴいの定食となっています。
◆営業時間 10:00~20:00
◆定休日 水曜日、第1・第3火曜日 (祝日の場合は営業)

11 ありすえ 度会郡南伊勢町村山973
TEL: 0596-76-1593



伊勢志摩サミット開催記念料理
あっぱれ 鯛ラーメン (900円)
伊勢志摩産の鯛から取った濃厚スープに、同じく伊勢志摩産の鯛、あっぱれ、あおさをトッピングしました。三重県の海の幸を一度に堪能できるラーメンをお楽しみください。
◆営業時間 11:30~14:00、16:30~22:00
◆定休日 月曜日

12 焼肉レストラン奥田 名張市鴻之台2番町134
TEL: 0596-62-5551



伊勢志摩サミット開催記念料理
伊賀牛 希少部位セット (6,480円)
三重ブランドの伊賀牛のなかでも、サミットにふさわしいトップの希少部位を厳選し、地元で取れる米や野菜などをセットにしました。伊賀牛の持つ本来の甘みを堪能のみでお楽しみいただけます。
◆営業時間 11:00~22:00 (LO21:30)
◆定休日 火曜日 (祝日の場合、翌日)

13 鬼ヶ城センター 熊野市木本町1835-7
TEL: 0597-89-1502



伊勢志摩サミット開催記念料理
美熊野牛のベーコン巻 和風ステーキ (1,280円)
さまざまな食材が互いに引き立つよう仕上げられています。美熊野牛や熊野地鶏、伊勢エビに春酸梅干(新報)など、三重県ならではの食の融合をお楽しみください。
◆営業時間 11:00~15:00
◆年中無休

14 入鹿温泉 ホテル瀧流荘内喫茶 瀧蘭 熊野市紀和町小川口158
TEL: 0597-97-1180



伊勢志摩サミット開催記念料理
三重ブランド熊野地鶏ハンバーグ (1,280円)
三重ブランドの熊野地鶏ハンバーグを伊勢志摩サミットが開催される貸鳥に見立て、周囲の鳥々を焼き野菜で表現しました。春酸梅干(新報)を使用したチーズケーキ等のセットも用意しています。
◆営業時間 11:00~14:00 (LO13:45)、17:00~20:00 (LO19:45) ◆定休日 12/1~3、2/1~2/28

■価格は全て税込です。■写真はイメージです。■提供内容等は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。
■情報は企画開始時のものです。営業時間、予約の必要性の有無、提供数量、臨時休業など詳細については各店舗へ直接お問い合わせください。





みえパン

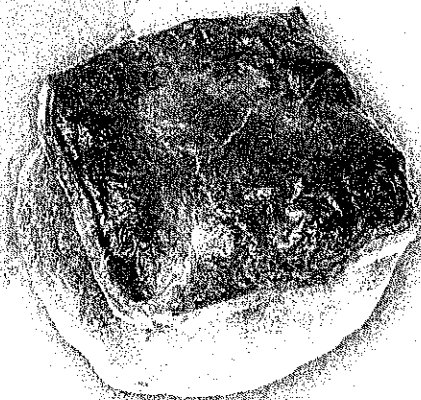
11月1日～30日みえパン第2弾



みえジビエドライカレーパン
250円(税込270円)



みえ枝豆フランス
180円(税込194円)

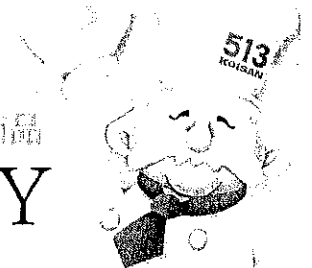


みえハナピラタケシチューパン
280円(税込302円)



三重県知事
鈴木 英敬

伊勢志摩サミット開催記念 みえフードイノベーション商品
三重県 × 513 BAKERY



2016年5月26日・27日 伊勢志摩サミット開催記念

三重県×ローソン コラボ企画

東海・北陸のローソン限定!

伊勢茶を使ったオリジナルスイーツを

7ヶ月連続 発売予定

～ みえフードインベーション商品 ～

2015年
発売

〈第1弾〉
10/27(火)
発売

〈第2弾〉
11/24(火)
発売

〈第3弾〉
12/29(火)
発売

2016年
発売

〈第4弾〉
1/26(火)
発売

〈第5弾〉
2/23(火)
発売

〈第6弾〉
3/29(火)
発売

〈第7弾〉
4/26(火)
発売

さらに、全7品を5/24(火)同時発売予定

※商品の詳細は各店舗にてご確認ください

平成 27 年 11 月 13 日

サミット開催支援課

住民懇話会の開催について

1 概要

(1) 目的

本住民懇話会は、伊勢志摩サミットに関する情報を住民へ伝え、開催機運の醸成と伊勢志摩サミット三重県民会議の取組への協力を図るとともに、住民からの要望や意見を聞き取り、今後の事業方針に活用する。また、警備関係機関と連携・協力してサミット開催に伴う住民生活への影響についての理解と協力を求めることを目的とする。

(2) 実施日程・対象等

ア 1 回目

11 月中旬より 12 月初旬、関係 4 市町の自治会長を対象にして実施する。

イ 2 回目

平成 28 年 2 月中、関係 4 市町の住民を対象にして実施する。

ウ 3 回目

サミット開催直前（平成 28 年 4 月末から 5 月初旬）、関係 4 市町の住民を対象にして実施する。

(3) 実施者

ア 三重県雇用経済部伊勢志摩サミット推進局（事務局）

イ 三重県警察本部警備部サミット対策課

ウ 第四管区海上保安部サミット等海上警備準備本部

(4) 内容

ア 伊勢志摩サミット三重県民会議事業の説明

イ 警備機関が実施する警備活動等の説明

ウ 質疑応答

2 第 1 回住民懇話会の日程等

地区	伊勢市	鳥羽市	志摩市	南伊勢町
日付	12月10日(木)	11月28日(土)	11月28日(土)	11月20日(金)
時間	19:00~20:00	11:00~12:00	15:00~16:00	19:00~20:00
場所	ハートプラザみその多目的ホール	鳥羽市民文化会館 大会議室	志摩市役所 4階会議室	南伊勢町役場 南勢庁舎 3階大会議室
対象	伊勢市内全自治会長 (全175自治会長)	鳥羽市内全自治会長 (全47自治会)	志摩市内全自治会長 (全49自治会)	南伊勢町内全区長 (全38区長)

平成 27 年 11 月 13 日
サミット事業推進課

国際理解・国際交流プログラムの実施について

1 趣旨

伊勢志摩サミット三重県民会議では、サミット開催を契機として、県民の皆様、サミット参加国について理解や交流を深めていただくため、園、学校、市町、企業、団体等、多様な主体が行う授業や講座等に、サミット参加国出身の在住外国人や留学生など、サミット参加国に詳しい方々を講師として派遣し、「国際理解・国際交流プログラム」を実施します。(受託事業者：(公財) 三重県国際交流財団)

2 内容

(1) 対象者

三重県内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、行政機関、企業、各種団体 等

(2) プログラム

	番号	プログラム		番号	プログラム
主に園児対象	【1】	参加国の遊びを楽しもう	主に中学生対象	【10】	参加国の料理を作ってみよう
	【2】	参加国の音楽を楽しもう		【11】	参加国の生活を知ろう
	【3】	参加国の言葉でお話してみよう		【12】	参加国について調べたことを講師に発表してみよう
主に小学校低学年対象	【4】	参加国の言葉でお話してみよう	主に高校生対象	【13】	参加国の生活を知ろう
	【5】	参加国の生活についてのクイズに挑戦		【14】	参加国の大学への留学方法、大学生活を知ろう
	【6】	参加国の音楽を楽しもう		【15】	参加国について調べたことを講師に発表してみよう
主に小学校高学年対象	【7】	参加国の料理を作ってみよう	主に一般県民対象	【16】	親子で参加国の遊びを体験してみよう
	【8】	参加国を世界地図で探そう		【17】	参加国の家庭料理を作ってみよう
	【9】	参加国のスポーツを体験してみよう		【18】	参加国の音楽を楽しもう

(3) 実施期間及び回数

平成 27 年 11 月 16 日 (月) ～平成 28 年 3 月 16 日 (水) まで 全 90 回

(4) 費用

無料(講師派遣等プログラム実施にかかる費用は伊勢志摩サミット三重県民会議にて負担します。)

(5) 募集期間

①第一次募集(先着順)

実施期間：平成 27 年 11 月 16 日 (月) から 12 月 27 日 (日) まで

募集期間：平成 27 年 11 月 13 日 (金) から 11 月 30 日 (月) まで

②第二次募集(抽選あり)

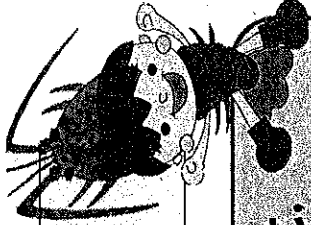
実施期間：平成 28 年 1 月 4 日 (月) から 3 月 16 日 (水) まで

募集期間：平成 27 年 12 月 1 日 (火) から 12 月 21 日 (月) まで

※第一次募集と第二次募集を合わせて申込が 90 回を超えない場合は、平成 28 年 1 月 4 日 (月) 以降、順次申込を受け付けます。

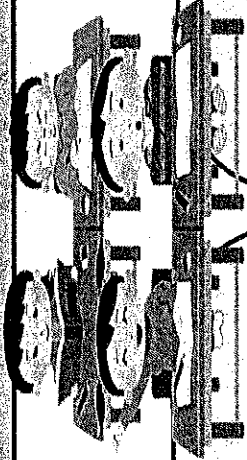
なお、申込状況によって、第一次募集分についても一部抽選となる場合があります。

「イチからわかる！サミット塾」（小中高等学校生編） 外務省の取組み



コンセプト

次世代を担う子ども達に、外交についての関心を高めていただくとともに、伊勢志摩サミットを世代を超えて盛り上げるため、三重県内の小中高等学校（対象：原則として小学校高学年以上）に若手の外務省職員を派遣し、サミットの説明もしながら、世界のことから身近なことまでわかりやすい授業をします！

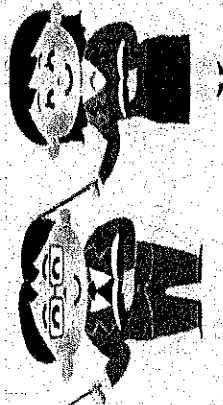


「イチからわかる！サミット塾」では何をやるの？

プログラムの概要

サミットや外交をわかりやすく説明

- 伊勢志摩サミットに来る国は？
- 「首脳」ってどんな人？
- どうしてサミットを開催するの？
- 「あなたがオバマ大統領だったら！？」
～模擬国際会議をやってみよう！～
- 世界の子どもたちの生活について考えよう。「学校に行けない子どもって世界にどれくらいいるの？」1日120円(\$1)以下で生活する人って何人にひとり？」
- 日本は世界がよりよくなるために、何ができるんだろう？



● 講師

外務省若手職員

● 時間 1時間単位

（各校の授業時間に合わせます）

※必要に応じて事前学習のための資料等も提供します。

● 準備および経費

資料の用意及び講師派遣にかかる経費は外務省にて全て負担します。謝礼等も一切不要です。

平成 27 年 11 月 13 日
伊勢志摩サミット推進局

伊勢志摩サミットに向けた東京での駐日外交団、プレス等に対する情報発信について

1 目的

伊勢志摩サミットに向けての機運醸成とサミット開催地である三重県を発信するため、東京で開催される各事業を連携した形で実施することで、海外プレスツアーへの誘導を行うなど国内外へより効果的な PR を行う。

2 取組方針

飯倉公館でのレセプションをキックオフとし、日本記者クラブ及び日本外国特派員協会での事業を展開することで、本県のプレスツアー等の参加につなげる。

3 事業の概要

(1) 飯倉公館でのレセプション [10 月 27 日(火) 18:00~19:30]

目的：「サミット開催地=三重県」を広く発信し、開催機運を醸成

対象：駐日外交団、外国プレスなど

(2) 日本記者クラブでの知事記者会見 [11 月 11 日(水) 15:30~17:00]

目的：伊勢志摩サミットに向けての取組、三重県についての理解の深化

対象：日本記者クラブ会員

※なお、志摩市の観光等の PR、知事ブリーフィングの紹介を目的として、

日本外国特派員協会と志摩市観光協会による美しい志摩市の夕べ（志摩市ナイト）が 11 月 11 日(水)（18:00~21:00）に開催されました。

(3) 日本外国特派員協会での知事記者会見 [11 月 18 日(水) 12:00~14:00 開催]

目的：伊勢志摩サミット開催地に選ばれた三重県の認知度向上

県民会議主催プレスツアー参加を促す

対象：日本外国特派員協会会員（海外報道関係者が中心）

外務省飯倉公館でのセミナー及びレセプションについて

10月27日(火)、外務省飯倉公館で、駐日外交団、駐日商工会議所、外国プレス等を対象に、伊勢志摩サミットに向けたセミナー及びレセプションを開催しました。

1 開催概要

- (1) 伊勢志摩サミット開催記念セミナー「伝統と革新～日本のこころを三重から世界へ～」
(三重県主催、外務省協力)

16時30分から17時30分まで

出席者：約70人

- ・トークセッション「世界から見た三重の魅力！」

【出席者】井原慶子氏(カーレーサー/慶應義塾大学大学院特任准教授)

片山右京氏(元F1ドライバー/Team Ukyo(チーム右京)代表)

鈴木亜久里氏(元F1ドライバー/ARTA Project プロデューサー
/AUTOBACS RACING TEAM AGURI 代表・監督)

- ・講演及び対談「日本人の心のふるさと伊勢神宮」

【出席者】(講演)神宮禰宜/神宮司廳文化部長 河合真如氏

(対談)神宮大宮司 鷹司尚武氏

三重県知事 鈴木英敬

- (2) 伊勢志摩サミット開催レセプション～三重へのいざない～(外務省及び三重県の共催)

18時から19時30分まで

出席者：約300人

- ・冒頭、主催者である岸田外務大臣及び鈴木三重県知事の挨拶に加え、安倍総理大臣からもビデオにてメッセージをいただきました。

- ・今回のレセプションでは、三重の伝統と革新を体感できる特産品や先端技術等を紹介する様々なブースを設けるとともに、ステージでは和楽器によるオーケストラの演奏や伊勢音頭の披露等を行いました。また料理については、10月9日(金)に外務省齋木事務次官に提出した食材等のリストをケータリング業者に渡し、三重の食材等を可能な限り多く取り入れたメニューとするよう、調整を行いました。

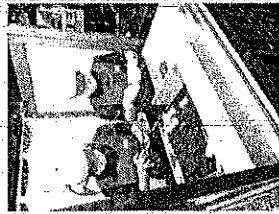
2 今後に向けて

- ・外務省飯倉公館での開催となり、またレセプションについては外務省との共催となったことで、県が東京のホテルで単独開催するよりも招待状の発送やフォローなど、効率的かつ効果的に実施することができました。
- ・セミナー及びレセプションにおいては、伊勢志摩及び三重の魅力・ポテンシャルを十分に体感していただくことができ、ご出席いただいた方々から大変好評でした。
- ・今後、G7各国と伊勢志摩サミットに向けて連携を図っていくとともに、外国プレスに対しては、11月18日(水)日本外国特派員協会での知事ブリーフィングやプレスツアーなどにつなげていきます。

伊勢志摩サミット開催レセプション ～三重へのいざない～

10月27日(火)、外務省飯倉公館において、三重の地に静かに息づく自然や伝統と、世界をリードし未来を動かそうとする革新の技を、【日本の原風景・心のふるさと三重】、【常に新しく、未来を生み出す三重】の2つのテーマで展開し、駐日外交団、駐日商工会議所、外国プレス等の方々に、サミット開催地三重の魅力・ポテンシャルを体感していただきました。

【日本の原風景・心のふるさと三重】



江戸時代から続く伊勢のおもてなし
赤福茶屋(試食・呈茶)

エントランス

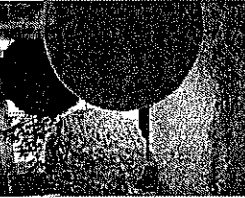
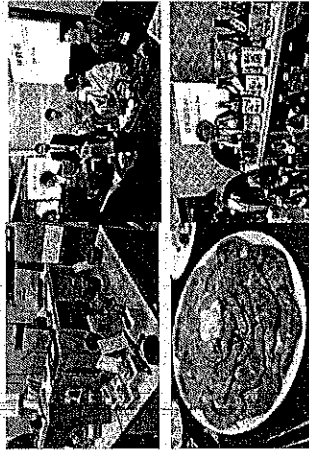
日本が誇るものづくりの技術がお迎え
F1マシン(マクラーレンホンダ)

御食つ国のおもてなし

地酒・松阪牛・伊勢えび・熊野地鶏・南紀みかん・伊賀コシヒカリ・伊勢茶 etc

三重で育まれた自然・伝統・文化を体感

- ・真珠
- ・海女文化
- ・伊賀くみひも
- ・伊勢形紙



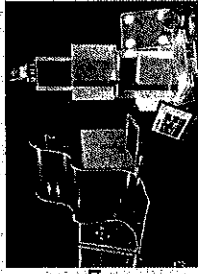
金場装飾
自然の恵み
×
人の技術
×
アート

三重の食 × 三重の未来を担う高校生

高校生レストラン

三重が世界に誇る最先端技術を展示

- ・小型旅客機MRJ模型
- ・NAND型フラッシュメモリー
- ・超低消費電力テクノロジー使用のLSI製品
- ・スパコン「京」



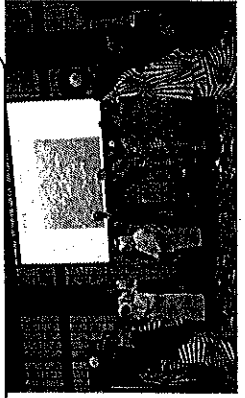
伊勢志摩の自然・文化に触れる映像 AUN-J (AUN J-CLASSIC ORCHESTRA) による和楽器演奏

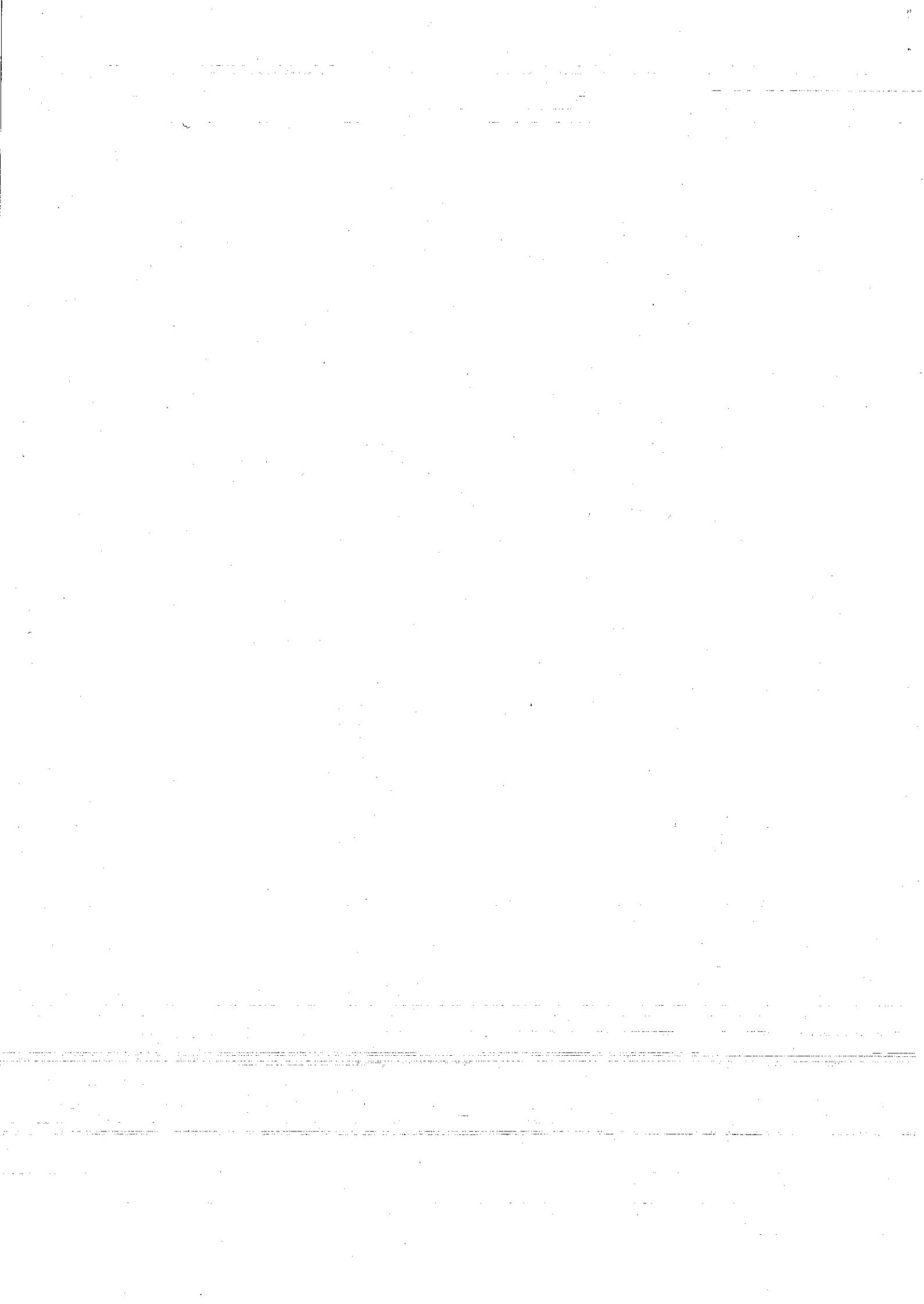
ステージパフォーマンス



エンディング

荷物にならない伊勢みやげ「伊勢音頭」





平成 27 年 11 月 13 日
伊勢志摩サミット県民会議
事業推進課

県民会議主催のプレスツアーについて

1 目的

県民会議主催プレスツアーは、外務省他主催のプレスツアーやジュニアサミット等を勘案し、地域が偏らないような行程とします。

なお、取材先については、委託先のフォーリンプレスセンターと県民会議との協議において、出来る限り市町と協働で行うことにより、地元にいると気づかない各種資源を発掘したり、外国人を受け入れる視点を共有し、サミット後のインバウンドの強化にもつなげていく。

2 取組方針

取材を通じて記事を発信するためのプレスツアーであるため、次の方針に基づき実施します。

(1) 在京外国人プレスが興味を持つテーマの選定

在京外国人プレスは、経済や政治を中心に取材しており、相当な情報発信力がある。記者の興味を引き付けるために、一般的なテーマの場合は、斬新な切り口が必要になる。

(2) 取材先の選定

取材先は、多くの特色あるポイントを持つだけで無く、説明等を通じて「人とストーリー」にスポットが当たるよう場所、人を選定していく。

3 取材先の選定プロセス

次のプロセスにてプレスツアーの行程を決定していきます。

(1) 9月に実施した市町からの聞き取りに加え、県民会議が、適宜、シート(随時、委託先と視点調整したもの、(例)視点→TPP、高齢者、子育て、環境、技術、防災、ユニークな人等)などを使って市町と情報交換したり、直接ヒアリングをしながら多くの情報を集める。

(2) 県民会議が市町から収集した情報は委託先に送付し、県民会議と委託先で複数のテーマを選定する。

(3) 複数のテーマに基づき該当すると思われる取材候補のさらに詳しい情報を県民会議が市町等から収集する。

在京外国人プレスに注目されるように、関係市町と協議しながら、取材候補のより多くのアピールポイントを整理していく。

(4) 県民会議と委託先で、取材候補を選定し、現地訪問する。

(5) 委託先との最終調整結果を県民会議が市町と取材候補に連絡し、共有する。

このときに出来る限り理由も共有し、今後のインバウンドに生かしてもらう。

4 第1回プレスツアー

在京の外国人プレスが取材対象として興味を持ってもらう等の観点で、伊賀エリアを中心とした取材委託先であるフォーリンプレスセンターと現地調査した結果、下記の通りと致したい。

(1) タイトル

「忍者の里と農業」

(2) 実施時期

平成27年12月7日から8日まで

(3) 取材先

「モクモク手作りファーム」、「伊賀流忍者博物館」、「木の子の里」、「うれし野アグリ」「アグリー農園」

(4) 募集開始予定

平成27年11月16日

5 今後の県民会議主催のプレスツアー

残り2回については、外務省他主催のプレスツアーの受入れ状況を勘案しながら、三重県全域の発信につながるように調整しながら実施します。

以 上

平成27年11月13日

サミット事業推進課

ジュニアサミットについて

1 これまでの経緯

- 8月 5日 鈴木知事から中山泰秀外務副大臣に本県開催を強く要望
9月17日 伊勢志摩サミット推進局長から外務省大臣官房人物交流室長に、開催日程（案）や討議テーマ及び討議に資する視察先を提案
10月27日 外務省飯倉公館で開催された「伊勢志摩サミット開催レセプション」にて、岸田文雄外務大臣がジュニアサミットの三重県開催を発表

【開催時期】 平成28年4月22日から

【開催場所】 三重県桑名市を主会場とし、県内各地で視察、交流イベントを行う形で開催

2 開催内容について

平成27年11月11日、外務省からジュニアサミットの参加募集要領が示され、下記の内容で開催されることとなりました。

- ・名称：「2016年ジュニア・サミットin三重」
- ・開催期間（予定）：平成28年4月22日から28日まで
(4月21日会場入り、4月29日東京出発)
- ・主催：日本国外務省、共催：伊勢志摩サミット三重県民会議
- ・会議（討議）テーマ（案）：「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」
- ・参加者：G7各国の原則として15歳～18歳の4名のチーム（男性2名、女性2名）及び付添人1名
- ・使用言語：英語
- ・プログラム（暫定）
 - 4月21日（木）桑名市到着
 - 4月22日（金）開会式、会議
 - 4月23日（土）会議、視察
 - 4月24日（日）交流行事
 - 4月25日（月）会議
 - 4月26日（火）会議、閉会式、東京に移動
 - 4月27日（水）政府首脳に成果文書提出（27日又は28日）、都内視察
 - 4月28日（木）同上
 - 4月29日（金）東京出発

3 日本代表チームの選考について

日本代表チームについて、三重県内から4名（男性2名、女性2名）及び付添人1名を平成28年2月29日までに選考するよう依頼がありました。

代表チームメンバーの資格要件は次のとおりです。

- ・日本国籍を有していること。
- ・原則として平成28年4月22日現在で15歳～18歳であること。
- ・他国の若者との話し合いや交流を行う英語力があること。
- ・心身ともに健康であること。
- ・ジュニア・サミットの全日程に参加できること。
- ・国際交流や国際問題について関心があること。
- ・参加について親権者の同意が得られること。

4 今後の取組方針

- (1) 日本代表チームについては、県内の高校生等から選出するため、速やかに募集を開始します。
- (2) 三重県ならではの歓迎・交流行事や、県内高校生等との交流を含む県内各地分散型の体験・交流の具体的なプランについて、改めて国に提案を行っていきます。
- (3) 開催日程を通して、県内高校生等が参加者と交流できる機会を可能な限り設けられるよう、外務省と協議します。
- (4) 開催に向け、参加者の歓迎や受け入れ等について、主会場となる桑名市をはじめ、北勢地域の市町や県内の関係者と緊密な連携を図っていきます。

協賛、応援、寄附の申込状況等について

平成27年11月13日

8月31日より開始した、協賛、応援、寄附の募集にかかる11月12日時点での申込状況は、下記のとおりです。

協賛	応援	寄附	
27件 うち登録10件	195件 うち登録161件	155件 239,175,538円	
		法人	個人
		111件 232,704,000円	44件 6,471,538円

協賛、応援の事業提案内容は、別添のとおりです。

協賛、応援申込状況

H27.11.12 時点

伊勢志摩サミットにかかる協賛、応援について、現時点での申込状況は、下記のとおりです。

【備考】・登録欄の「済」は登録済のもの、「未」は審査中のものです。
・公表欄の「○」は内容の公表に同意があるもの、「×」は公表を希望しないものです。

【協賛】

申請件数	27
うち登録件数	10

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	三重トヨタ自動車株式会社	クリーンアップ運動へのごみ袋等提供他	済	○
2	H27.9.3	尾鷲名水株式会社	サミットの出席者、スタッフにミネラルウォーターを提供	済	○
3	H27.9.11	「小さな親切」運動三重県本部	ごみ袋3万枚(JT協賛)配布し小中学校、企業等とともに、県民会議と同一週に環境美化活動実施	済	○
4	H27.9.11	百五銀行「小さな親切」の会	百五銀行の行員3,000名がサミット開催の直前週に環境美化活動実施	済	○
5	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)の空いている立体駐車場を無償貸与	済	○
6	H27.9.18	株式会社アクアイグニス	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ「伊勢海老パイ」を提供	済	○
7	H27.9.24	-	-	-	○
8	H27.9.25	-	-	-	○
9	H27.9.25	-	-	-	○
10	H27.9.25	-	-	-	○
11	H27.10.5	三重畜産有限会社	サミット関連事業へ牛肉、豚肉、加工品等を提供	済	○
12	H27.10.14	新日本工業株式会社	伊勢志摩サミットの情報誌、パンフレットを入れるケースを作成し提供	済	○
13	H27.10.16	-	-	-	○
14	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	伊勢志摩サミット関連イベントを対象とした店頭催事スペースの無償貸与	済	○
15	H27.10.26	-	-	-	×
16	H27.10.28	-	-	-	○
17	H27.10.30	-	-	-	○
18	H27.10.30	-	-	-	○
19	H27.11.2	-	-	-	○
20	H27.11.2	学校法人鈴鹿医療科学大学	第2回伊勢志摩サミットフォーラム会場となる鈴鹿医療科学白子キャンパスを無償貸与	済	○
21	H27.11.5	-	-	-	○
22	H27.11.5	-	-	-	○
23	H27.11.6	-	-	-	○
24	H27.11.6	-	-	-	○
25	H27.11.6	-	-	-	○
26	H27.11.10	-	-	-	○
27	H27.11.12	-	-	-	○
28	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-

【応援】

申請件数	195
うち登録件数	161

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	株式会社百五銀行	百五観光アカデミー開催	済	○
2	H27.8.28	堀口文宏の志摩っぴいこぎ運営委員会	志摩の魅力を動画番組、SNS等で配信	済	○
3	H27.8.28	三重の大酒蔵市実行委員会	県内の酒蔵と四日市市飲食店のコラボイベント	済	○
4	H27.9.1	村林浩代ソプラノリサイタル実行委員会	リサイタルの売上の一部を県民会議へ寄附	済	○
5	H27.9.2	JAグループ三重 JA事業サポートセンター	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
6	H27.9.2	「名港水上芸術花火2015」開催委員会	名古屋港ガーデンふ頭でサミット記念花火大会	済	○
7	H27.9.2	イオンリテール株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
8	H27.9.2	マックスバリュ中部株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
9	H27.9.2	イオンリテール株式会社	関西圏店舗で「三重県フェア」開催	済	○
10	H27.9.2	三重信用金庫	「伊勢志摩サミット記念定期」を販売し利息の一部を寄附	済	○
11	H27.9.3	キンビールマーケティング株式会社	記念デザイン肩ラベル品販売、売上1本につき1円を寄附	済	○
12	H27.9.3	三重県漁業協同組合連合会	伊勢志摩サミット開催PRのための看板設置	済	○
13	H27.9.4	一般社団法人三重県食品衛生協会	サミット成功に向け食中毒を発生させないセミナー開催	済	○
14	H27.9.4	-	-	-	○
15	H27.9.4	-	-	済	×
16	H27.9.4	-	-	済	×
17	H27.9.4	全国詩曲音楽連盟	サミットの記念曲(イメージソング)の制作	済	○
18	H27.9.9	エールアドエイジェンシー合同会社	北勢エリアの社員募集情報誌へのポスターの無料掲載	済	○
19	H27.9.9	-	-	済	×
20	H27.9.10	-	-	済	後日公表
21	H27.9.10	-	-	済	後日公表
22	H27.9.10	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
23	H27.9.11	株式会社第三銀行	伊勢志摩サミット開催記念定期を販売し、抽選で特産品等をプレゼント	済	○
24	H27.9.14	-	-	済	後日公表
25	H27.9.15	株式会社百五銀行	主要14ヶ店のロビーにWi-Fiを整備する	済	○
26	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)壁面にサミットポスター掲出	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
27	H27.9.17	三重交通グループホールディングス株式会社	サミットデザインの缶バッジを作成し、グループ11社の社員が着用	済	○
28	H27.9.17	株式会社百五銀行	クレジットカードを一定額以上利用した方から抽選で伊勢志摩地域のレストラン食事券プレゼント	済	○
29	H27.9.18	-	-	済	×
30	H27.9.18	一般社団法人日本アマチュア無線連盟 三重県支部	サミット開催記念のCall Signを取得後、国内海外のアマチュア無線局と交信し三重県をPR	済	○
31	H27.9.18	伊藤印刷株式会社	伊勢志摩サミット開催記念応援グッズ(缶バッジ・三重半彩・シール)を販売し、売上の一部を寄附	済	○
32	H27.9.24	特定非営利活動法人ほがらか絵本畑	伊勢志摩サミットを機会に海外を身近に感じさせるため、絵本を使った勉強会やセミナーを実施	済	○
33	H27.9.24	日本ボーイスカウト 伊賀第1回 カブ隊	伊勢志摩サミットに関する子ども向け学習会実施(テーマ:世界の国ぐに)	済	○
34	H27.9.25	まちづくり団体 楽笑(Raku-Sho)	志摩発の女性会議:伊勢志摩女子サミットG7(ガールズセブン)を開催	済	○
35	H27.9.25	株式会社百五ディーシーカード	会員向け「ご利用代金明細書」(毎月約8,000通)へ寄付金募集の案内を掲載	済	○
36	H27.9.28	株式会社第三銀行	本支店(特に県外店舗)ロビーに「伊勢志摩サミット2016」のポスターを掲示	済	○
37	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	特別番組「世界のリーダーたちが三重に」7/5放送(インターネットでの公開9/16~)	済	○
38	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	特別番組「県民みんなで盛り上げよう伊勢志摩サミット」9/21放送(インターネットでの公開10月予定)	済	○
39	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミット特設ウェブサイトの開設	済	○
40	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミットの話者を重点的に紹介する「伊勢志摩サミット応援ウィーク」の実施	済	○
41	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	三重テレビのスタジオに卓上サミット告知プレートを設置	済	○
42	H27.9.29	神風講社音楽部	伊勢志摩サミット開催を雅楽演奏会のポスターに掲載し、会場内に横断幕を掲揚する	済	○
43	H27.9.29	NTN株式会社	近鉄線踏切の建屋壁面に横断幕2枚(伊勢志摩サミット、ジュニアサミット各1枚)を設置	済	○
44	H27.9.29	株式会社青葉	天然ミネラルウォーターのペットボトルに「伊勢志摩サミット」応援文字を貼付。売上の一部を寄附。	済	○
45	H27.9.29	近鉄グループホールディングス株式会社	近鉄各駅、近鉄GHD各社等で、ポスター(県民会議製作分および自主製作分)掲出など	済	○
46	H27.9.30	株式会社百五銀行	会員向け「ご利用代金明細書」(毎月約15,000通)へ寄付金募集の案内を掲載	済	○
47	H27.9.30	三重畜産有限会社	サミット応援商品の開発、販売で三重県産牛・豚の魅力をPR	済	○
48	H27.9.30	鳥羽志摩農業協同組合	鳥羽志摩地域の農産物を使用した「G7ランチプレート」の販売	済	○
49	H27.10.1	株式会社第三銀行	ホームページでサミット開催までの日数をカウントダウン	済	○
50	H27.10.1	伊勢鉄道株式会社	全車両のドア内側上部に三重県地域連携部が作成したサミット開催ステッカーを掲示	済	○
51	H27.10.2	伊勢志摩サミット応援ツール制作センター	ビジュアルの統一された応援ツールを作成し、地域を伊勢志摩サミット一色に彩るプロモーション事業を行う。	済	○
52	H27.10.2	株式会社コイサンズ	三重の食材を利用したパンを毎月3種類販売(7か月)、28年5月には全21種類一斉販売	済	○
53	H27.10.5	株式会社TA西村	瞬間冷凍した三重県の特産物に「祝 伊勢志摩サミット開催」などのシールやステッカーを貼る	済	○
54	H27.10.5	伊勢志摩真珠館	「伊勢志摩サミット お祭り広場」として伝統工芸・文化、伊勢志摩特産品等の販売	済	○
55	H27.10.5	株式会社ダイレクトカズ	尾鷲ヒノキ家具と伊勢型紙を使用したオリジナルカラーを「伊勢志摩サミット開催記念」としてイベント等で展示	済	○
56	H27.10.5	東邦ガス株式会社 三重支社	①折り込みチラシ・手配りチラシに伊勢志摩サミットをPR②ガス展示場へのポスター掲示	済	○
57	H27.10.6	石田鉄工株式会社	①アコヤ真珠貝殻入り景観グレーチングを開発②グレーチングカタログにサミットポスターを掲載	済	○
58	H27.10.7	石田鉄工株式会社	①展示会(東京ビックサイトなど)自社ブース内にポスター掲示②社内にポスター掲示	済	○
59	H27.10.7	鳥羽シーサイドホテル株式会社	フロントロビーやホームページでのサミットPR実施や、館内全室WiFi設置など	済	○
60	H27.10.7	鳥羽観光会館ビル株式会社	①鳥羽1番街建物へ「サミット歓迎」懸垂幕②1階コンシェルジュでサミット案内業務実施	済	○
61	H27.10.7	皇学館大学	NIPPONの原点を学ぶ三重の魅力発信セミナー「うまし国 伊勢志摩の神話と日本文化」実施	済	○
62	H27.10.8	鳴海製陶株式会社/三重ナミ株式会社	「伊勢志摩サミット招致決定記念」として伊勢志摩発のメモリアルギフト等の新製品を開発	済	○
63	H27.10.8	株式会社柿安本店	グループ約300店舗で「サミット開催記念 美し国三重フェア」として業態に合わせたオリジナルメニュー開発	済	○
64	H27.10.9	日本通運株式会社 三重支店 伊勢営業所	各拠点へのポスター掲示および従業員の名刺へのロゴ記載によるサミット開催PR	済	○
65	H27.10.9	一般社団法人三重県建設業協会	伊勢志摩サミット応援ポスターを作成し、会員企業の事務所や工事現場に掲示	済	○
66	H27.10.13	一般社団法人三重県産業廃棄物協会	伊勢志摩地域の産業廃棄物不法処理防止パトロール及び不法投棄撤去作業	済	○
67	H27.10.13	北伊勢上野信用金庫	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
68	H27.10.13	JAグループ三重	伊勢志摩サミット応援メッセージを記載した県内茶試供品の配布	済	○
69	H27.10.13	いせ毎日会・毎日新聞伊勢支局	「伊勢まつり」にブース出展を行い、伊勢志摩サミットをPR	済	○
70	H27.10.14	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	関西地区の直営店30店舗、提携店約50店舗に伊勢志摩サミットポスターを掲示	済	○
71	H27.10.14	三重テレビ放送株式会社	津まつりの三重テレビブースで「伊勢志摩サミットにちなんだぬり絵」の実施	済	○
72	H27.10.14	株式会社NTTドコモCS東海 三重支店	県内ドコモショップ39店舗での伊勢志摩サミットポスターの掲出	済	○
73	H27.10.15	まちなか文化祭実行委員会	「まちなか文化祭」当日に配布するチラシ等でサミット開催をPR	済	○
74	H27.10.15	三重県市町村職員共済組合	三重市町村会館および「サンペララ志摩」でポスターの掲示・リーフレット据え置き	済	○
75	H27.10.15	三岐鉄道株式会社	駅および車内への伊勢志摩サミットポスターおよび三重県地域連携部作成ステッカーの掲出	済	○
76	H27.10.16	株式会社上田新工業	会社入口に伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
77	H27.10.16	株式会社上田新工業	ホームページに「伊勢志摩サミット開催を応援しています」文言、シンボルマークを掲載	済	○
78	H27.10.16	三重執業株式会社	地元中学校での出前講座で使用するパワーポイントにシンボルマーク掲載	済	○
79	H27.10.16	三昌物産株式会社	自社カタログ等にサミットポスター掲載、商品にも統一シンボルマークを貼付	済	○
80	H27.10.19	-	-	済	×
81	H27.10.19	株式会社伊勢新聞社	購読者部数約10万部の伊勢新聞でカウントダウン広告掲載	済	○
82	H27.10.19	株式会社伊勢新聞社	伊勢志摩サミット開催200日前にあたる11月8日に別刷で伊勢志摩サミット特集を実施	済	○
83	H27.10.19	株式会社ピースブレアコーポレーション	販売物(餃子、餃子のたれ、みそだれなど)にシンボルマークを貼付	済	○
84	H27.10.19	はあと福祉タクシー	チラシ、ホームページに「伊勢志摩サミットを応援しています」の文言、売上の一部を寄附	済	○
85	H27.10.19	-	-	済	×
86	H27.10.19	株式会社ミエライズ	米袋にシンボルマークを掲載	済	○
87	H27.10.19	三交興業株式会社	名阪関ドライブイン、名阪上野ドライブインの入口看板にシンボルマークを掲載	済	○
88	H27.10.20	津市ボランティア協議会	つ・環境フェスタで缶バッジつくりコーナーを出展し、そこでシンボルマークの線画を用意	済	○
89	H27.10.20	糸川屋製菓株式会社	商品にシンボルマークを掲載	済	○
90	H27.10.20	東邦ガス株式会社 三重支社	名刺にシンボルマーク掲載	済	○
91	H27.10.20	イオンリテール株式会社	三重県内のイオン19店舗で三重県産品の販売や観光情報発信などのイベント実施	済	○
92	H27.10.20	三重県信用金庫協会	「三重県しんきんレポート」へ応援メッセージの掲載	済	○
93	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	三重県内全店舗へのカウントダウンボード設置	済	○
94	H27.10.21	JAグループ三重	三重県内厚生連病院院内モニターにて「伊勢志摩サミットを応援しています」旨のPR	済	○
95	H27.10.21	有限会社居酒屋ふぐや	サミット応援商品(食事メニュー)を開発し、売上の一部を寄附	済	○
96	H27.10.21	ヒストリックカーミーティング実行委員会	伊勢志摩サミットのプレイベントとして「CLASSIC CAR SUMMIT」を開催しサミットをPR	済	○
97	H27.10.21	三重県漁業協同組合連合会	①魚等の出荷に使用する箱にサミットをPRするシールを貼付 ②事務所にポスターを掲示	済	○
98	H27.10.22	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	全国都府県の国内拠点1,204か所伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
99	H27.10.22	三重県商工会連合会	みえのうまいもん物産展におけるポスター展示等	済	○
100	H27.10.22	三重県商工会連合会	みえまるごと物産展におけるポスター展示及びPRブースの設置	済	○
101	H27.10.22	三重県商工会連合会	三重県商工会大会における大会誌への伊勢志摩サミットPR及びパンフレット配布	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
102	H27.10.22	三重県商工会連合会	商工会全国大会におけるPR資料の配布及びPRブースの設置	済	○
103	H27.10.22	三重県商工会連合会	全国物産展におけるPRブースの設置	済	○
104	H27.10.22	八千代エンジニアリング株式会社 名古屋支店	本社を含む全支店に伊勢志摩サミットポスターならびに応援メッセージを掲載	済	○
105	H27.10.23	臼井織布株式会社	①応援商品の開発、シンボルマークを使用したシールを商品へ貼付②ポスターの掲出	済	○
106	H27.10.23	三重県馬事畜産振興協議会	「三重の馬い畜産物大抽選会」の告知に併せサミット応援メッセージを記載およびHPでの告知実施	済	○
107	H27.10.23	日本バーテナー協会三重県本部三重支部	三重支部の会員店舗40店舗でサミットポスター掲出	済	○
108	H27.10.23	-	-	済	×
109	H27.10.23	伊勢形紙協同組合	「匠の里・伊勢型紙フェスタ」会場におけるサミットポスターの掲示	済	○
110	H27.10.23	有限会社ウラケイパール	商品や看板へシンボルマークを表示	済	○
111	H27.10.23	株式会社百五銀行	全店舗のロビー(一部店舗を除く)にカウンタダウボードを設置	済	○
112	H27.10.23	株式会社百五銀行	役職員の名刺にシンボルマークを表示	済	○
113	H27.10.26	中部電力株式会社 三重支店	独自でカウンタダウボードを製作し、自社施設へ設置	済	○
114	H27.10.26	志摩市観光協会	「御食つ国・志摩 年末海旅市」にて伊勢えびなど県産食材の発信と伊勢志摩サミットをPR	済	○
115	H27.10.26	志摩市観光協会	「海女小屋体験施設 さとうみ庵」通常料金3,500円を3,310円(サミット)で提供	済	○
116	H27.10.26	志摩市観光協会	志摩市観光協会会員(会員数452)へ向けてポスター掲示依頼	済	○
117	H27.10.26	志摩市観光協会	①ホームページへサミット開催に伴う情報掲載②会員が開発したサミット関連商品情報を掲載	済	○
118	H27.10.26	志摩市観光協会	「伊勢志摩ふるさと交流会」内でのポスター配布	済	○
119	H27.10.26	志摩市観光協会	「わらじ祭り」でサミット開催記念のぼり旗を設置しサミットをPR	済	○
120	H27.10.26	NTT西日本三重支店	名刺・封筒・クリアファイルにシンボルマーク(シール)を貼付して開催をPR	済	○
121	H27.10.27	三重エフエム放送株式会社	「広瀬隆のラジオ魂!伊勢志摩サミット200日スペシャル」で、取組、県民の声、経済効果など放送	済	○
122	H27.10.27	-	-	済	後日公表
123	H27.10.27	NTT西日本三重支店	「Free-WiFi-MIE」のアクセスポイントの充実および無料利用時間の拡大	済	○
124	H27.10.27	マックスバリュ中部株式会社	サミット応援商品にシンボルマークを貼付	済	○
125	H27.10.27	中日新聞社広告局	サミット開催100日前特集記事および対談紙面を掲載	済	○
126	H27.10.27	伊勢志摩俳句サミット協議会	伊勢志摩サミットを応援する俳句大会を開催	済	○
127	H27.10.27	全国尾鷲節コンクール実行委員会	「全国尾鷲節コンクール」の開催ポスター、パンフレットでサミットをPR	済	○
128	H27.10.28	第三カードサービス株式会社	「ご利用明細書」(毎月約7,000~8,000通)およびホームページへ寄付金募集の案内を掲載	済	○
129	H27.10.28	株式会社マルゴ水産	本社へのポスター掲示、関係者へのポスター配布	済	○
130	H27.10.28	津市指定無形文化財 白塚獅子舞保存会	保存会事務所へのポスター掲示、関係者へのポスター配布	済	○
131	H27.10.28	有限会社 龍宮	シンボルマークを利用したポスター、POP、商品タグ等を制作しPR	済	○
132	H27.10.28	三重トヨペット株式会社	試乗車・社用車に応援メッセージ入りステッカーを掲示など9企画実施	済	○
133	H27.10.28	協同組合オールニッポンギフト	ギフトカタログの表紙にシンボルマークを掲載	済	○
134	H27.10.28	三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」	「男女共同参画フォーラム」にてポスター掲示およびパンフレットへのシンボルマーク表示	済	○
135	H27.10.28	-	-	済	後日公表
136	H27.10.29	株式会社ホクキャスト	シンボルマークをデザインしたグレーティングを開発	済	○
137	H27.10.29	北伊勢上野信用金庫	ウインターキャンペーンのチラシに「協賛、応援、寄附」募集の案内を掲載	済	○
138	H27.10.29	ポートルース津	伊勢志摩サミット開催記念「全国ご当地大集合サミット」を開催	済	○
139	H27.10.29	株式会社三重銀カード	「ご利用明細」およびホームページに寄附についての告知表記を掲載	済	○
140	H27.10.30	-	-	済	後日公表
141	H27.10.30	三重県産業廃棄物対策推進協議会	三重県鳥羽市答志島奈佐の浜での伊勢湾漂着ゴミ海岸清掃活動	済	○
142	H27.10.30	NPO法人三重補助犬普及協会	「つ・環境フェスタ」「いせトピア」でポスターシンボルマーク等でPR	済	○
143	H27.10.30	イオンモール東員	シンボルマークを使用したサミット応援ワッペンを作成	済	○
144	H27.11.2	近畿日本ツーリスト株式会社 津支店	JR・クーポン袋(10万部作成)を活用した伊勢志摩サミット三重県開催告知	済	○
145	H27.11.2	近畿日本ツーリスト株式会社 津支店	JR時刻表(3,500部)への伊勢志摩サミット三重県開催広告掲載	済	○
146	H27.11.2	-	-	済	×
147	H27.11.2	-	-	済	○
148	H27.11.2	-	-	済	○
149	H27.11.2	社会福祉法人洗心福祉会	法人が運営する県内約100事業所に「伊勢志摩サミット2016」ポスターを掲示	済	○
150	H27.11.2	赤塚グループ(株式会社赤塚植物園、株式会社赤塚、株式会社エフエフ・ジャパン)	店頭に横断幕やのぼり旗を設置するとともに情報誌などへ掲載	済	○
151	H27.11.2	南長野12志会	「伊勢志摩サミット 日本のおもてなし」をテーマにした南長野イルミネーション2015	済	○
152	H27.11.2	-	-	済	後日公表
153	H27.11.2	中島製茶株式会社	自社製品にシンボルマークラベルを貼付て販売	済	○
154	H27.11.4	有限会社アンドウセンイ	名刺にシンボルマークシールを入れる	済	○
155	H27.11.4	株式会社第三銀行	役職員の名刺にシンボルマークシールを貼付	済	○
156	H27.11.4	株式会社総本家貝新新七商店	商品にシンボルマークを貼り、サミットを応援	済	○
157	H27.11.4	NEMU HOTEL & RESORT	TV放映CM内で「2016年5月伊勢志摩サミットの応援事業」のテロップを表示	済	○
158	H27.11.4	株式会社三重銀行	伊勢志摩サミット応援融資「伊勢志摩サミット」応援ファンドの取扱	済	○
159	H27.11.4	株式会社三重銀行	伊勢志摩サミット応援融資「事業者向けフリーローン・クイック」金利優遇キャンペーン	済	○
160	H27.11.4	株式会社三重銀行	デジタルサイネージを活用した、サミット開催までのカウンタダウ表示	済	○
161	H27.11.4	株式会社三重銀総研	リージョンネット三重「伊勢志摩サミット応援キャンペーン」の実施	済	○
162	H27.11.4	-	-	済	○
163	H27.11.4	-	-	済	○
164	H27.11.5	細川酒造株式会社	「三重路上馬ビール」等の商品にシンボルマークを貼り、開催を広く周知	済	○
165	H27.11.5	ゆくりかレコーズ	楽曲「海と真珠と神様と」(メルヘン堂)の伊勢志摩サミットタイアップ曲	済	○
166	H27.11.5	-	-	済	後日公表
167	H27.11.5	-	-	済	後日公表
168	H27.11.5	株式会社第三銀行	41営業店にカウンタダウボード表示(営業店内デジタルサイネージ表示)	済	○
169	H27.11.6	-	-	済	○
170	H27.11.6	-	-	済	○
171	H27.11.6	-	-	済	○
172	H27.11.6	-	-	済	○
173	H27.11.6	-	-	済	○
174	H27.11.6	-	-	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
175	H27.11.6	-	-		○
176	H27.11.9	-	-		○
177	H27.11.9	-	-		○
178	H27.11.9	-	-		○
179	H27.11.9	-	-		○
180	H27.11.9	-	-		○
181	H27.11.9	-	-		○
182	H27.11.9	-	-		○
183	H27.11.9	-	-		○
184	H27.11.9	-	-		○
185	H27.11.10	-	-		○
186	H27.11.10	-	-		○
187	H27.11.10	-	-		○
188	H27.11.10	-	-		×
189	H27.11.10	-	-		○
190	H27.11.10	-	-		後日公表
191	H27.11.10	-	-		○
192	H27.11.10	-	-		○
193	H27.11.10	-	-		○
194	H27.11.11	-	-		○
195	H27.11.12	-	-		○
196					
197					
198					
199					
200					

平成 27 年 11 月 13 日
サミット総務課

伊勢志摩サミット東海会議について

1 要旨

東海地域の官民が連携・協力して、サミット関係者の歓迎及び伊勢志摩地域への案内、東海地域の情報発信を行うことで、東海地域の活性化につなげるため、「伊勢志摩サミット東海会議」（以下「東海会議」という。）が 11 月 5 日（木）に設立されました。

2 概要

（1）参加関係機関

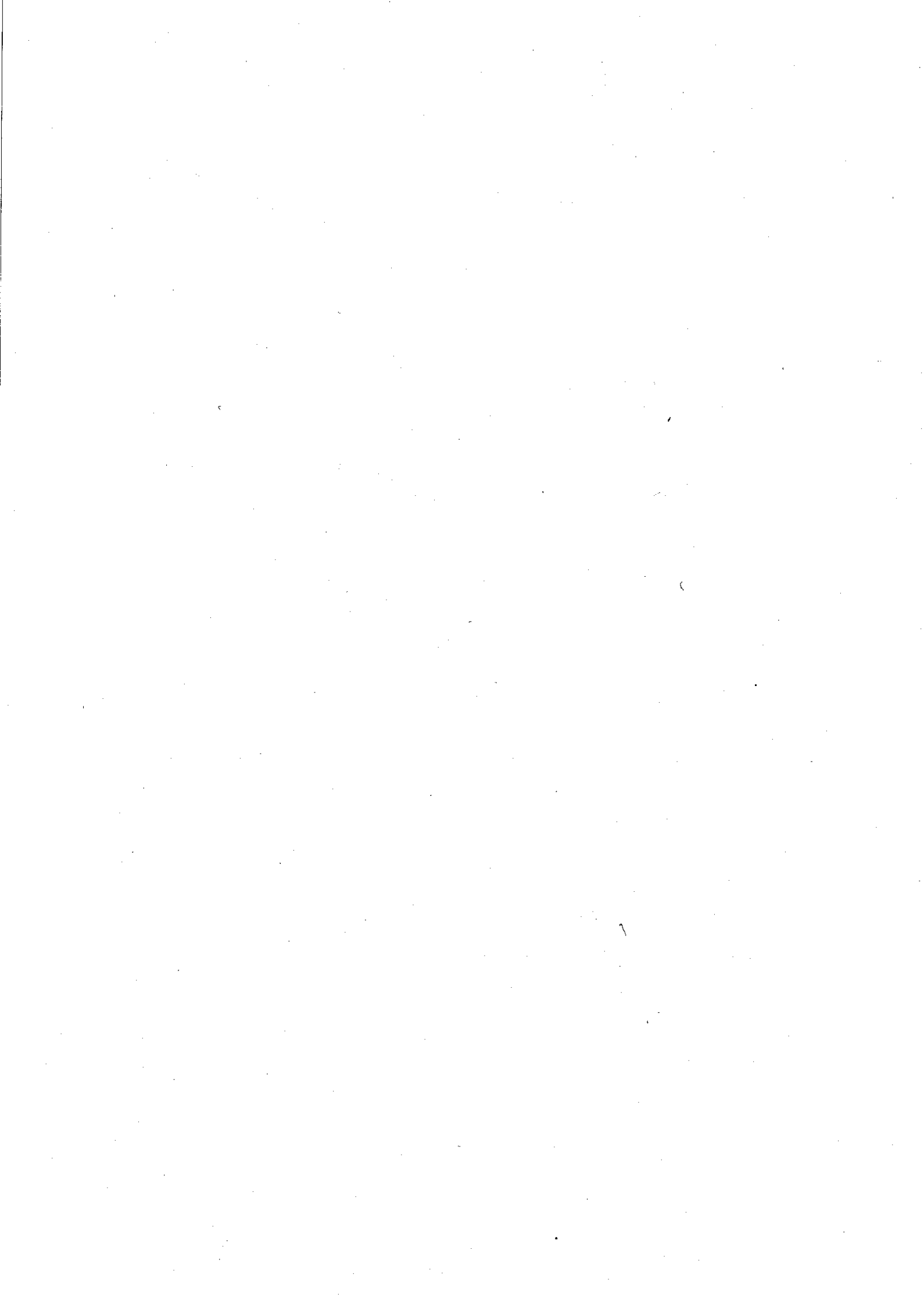
中部経済連合会、愛知県、名古屋市、三重県等

（2）設立総会及び第 1 回総会（11 月 5 日開催）の概要

- ・ 設立総会では、事務局代表である中部経済連合会三田会長から、東海会議設立趣旨（案）、東海会議規約（案）、役員を選任（案）について説明があり、了承。
- ・ 第 1 回総会では、東海会議事業実施基本方針（案）、顧問等の選任報告があり、了承。
- ・ 副会長に石垣副知事、顧問に鈴木知事が就任。

3 今後の対応方針

今後、連携を密にし、東海三県一市担当課長会議の議論とも調整を図りながら、伊勢志摩サミット開催に向けた準備を進めていきます。



「伊勢志摩サミット」 開催に向けた東海三県 一市の取組に関する要望

平成27年11月5日

岐阜県
愛知県
三重県
名古屋市

首相官邸	菅	義偉	殿
総務省	高市	早苗	殿
外務省	岸田	文雄	殿
財務省	麻生	太郎	殿
経済産業省	林	幹雄	殿
国土交通省	石井	啓一	殿

岐阜県知事	古田	肇
愛知県知事	大村	秀章
三重県知事	鈴木	英敬
名古屋市長	河村	たかし

「伊勢志摩サミット」開催に向けた
東海三県一市の取組に関する要望について

日頃より、東海地方の経済活動をはじめ地域の発展につながる取組にご指導賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東海地方では、地域全体の活性化を目的に、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市の首長が一堂に会する知事市長会議を開催し、東海地方の魅力発信や海外からの誘客促進などによる経済活性化といった共通課題について、議論を行っております。

来年5月、三重県で「伊勢志摩サミット」が開催されることが決定しました。

サミットという世界最高峰の国際会議の開催は、三重県のみならず、東海地方の魅力を世界に発信する千載一遇のチャンスであり、東海三県一市が連携して、万全の体制で受入を行うとともに、サミットの成功に向けた取組を進めているところです。

東海三県一市においては、伊勢志摩サミットを成功させることで、我が国の地方創生の先駆けとなり、日本全体をPRする取組となるよう、この地域が一丸となって取組を展開するとともに、国におかれましても東海地方の強みであるものづくり産業のPRや各種インフラの整備等につきまして、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

要望事項

岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市からなる東海地方は、次世代自動車等の自動車関連産業、航空宇宙産業、ヘルスケア産業等、世界に誇る高度なものづくり産業が集積する地域であり、日本の国際競争力を支え、日本経済を牽引している地域です。

一方、伊勢神宮や熊野古道をはじめ、国宝犬山城や名古屋城、飛騨高山や白川郷合掌造り集落など、古来より日本の精神性や生活文化に影響を及ぼしてきた伝統文化が息づき、伝統芸能、山車・祭りをはじめとする地域文化、武将や忍者、海女、鵜飼い、地域固有の食など、この地域に根付いた歴史文化が現在に至るまで継承されています。

このように、東海地方は、「先端技術」と「伝統文化」を兼ね備えた、日本の魅力を代表して発信できる地域といえます。

さて、主要国首脳会議（サミット）を成功させるためには、まずは安全・安心に開催することが第一です。

「伊勢志摩サミット」の開催が決定したことを受け、海外からの賓客をお出迎えするためにも、地域を挙げた一層の受入体制の整備が急務です。

また、観光分野においては、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向け、国が掲げる訪日外国人2,000万人の達成前倒しが見込まれています。

そのため、東海地方では、この機会を捉え、年間で訪日外国人200万人、航空貨物取扱量30万トンの取り込みをめざし、その実現に向け、地域一丸となって取り組んでいます。

そうした中、サミットの開催を契機に、世界に向けて積極的な情報発信を行うことで、国際観光地としてのレベルアップだけでなく、この地域の知名度向上、地域の総合力の向上にもつなげていくことが重要であると考えています。

さらに、サミット開催による効果を、開催地である伊勢志摩地域、三重県だけでなく、東海地方を含めた広域のエリアにも波及させなければなりません。

加えて、サミットを一過性に終わらせることなく、サミットの資産を遺すことで、地方創生の先駆けとなる取組につなげていくことも重要です。

今回の伊勢志摩サミットは、典型的な地方都市での開催であり、沖縄や北海道のように、特命担当大臣が配置されるなどの特別な事情をもつ地域とは異なります。

サミットの成功に向けて、さまざまな課題を克服し、しっかり準備を行っていくためには、東海三県一市が、国等関係機関とともに、連携・協力していくことが必要不可欠であり、今後同様に、サミットが日本の地方都市で開催される場合のモデルとなる必要があります。

「伊勢志摩サミット」の開催が、東海地方の魅力発信や誘客促進等による総合力の向上につながり、ひいては地方創生の先駆けとなるよう、次の事項について強く要望します。

1. サミット開催にかかる財政支援

来年の伊勢志摩でのサミット開催は、東京以外でサミットが開催された沖縄や北海道のように、特命担当大臣が配置されるなどの特別な事情をもつ地域とは異なる、典型的な地方都市での開催になります。

特に、東海三県一市での広域的な協力は不可欠であり、このような広域的な連携によるサミット開催は、今後、日本の地方都市でサミットが開催される際のモデルにもなります。

そのため、伊勢志摩サミットの開催にあたり必要となる警備、消防、社会資本整備等に関する地方の負担に対し、必要な予算の確保や、今後の地方都市でのサミット開催のモデルとなるような財政支援スキームについて要望します。

2. 日本の技術力を集積した展示と東海ものづくり最新技術PR

現下の世界情勢に鑑みると、G7諸国は、少子・高齢化社会の到来など従来の社会構造の変化をはじめ、地球温暖化対策やサステイナブルなエネルギー供給構造の構築といった課題に直面しています。

議長国である日本は、「伊勢志摩サミット」開催を機に、これらの課題を解決に導くための方策、具体的には次世代社会への変化に対応可能なライフスタイルや移動手段（高齢化社会への対応や低炭素社会の実現）等を各国に提示することが求められています。

そのため、日本のものづくり力・イノベーション力の展示を国際メディアセンター及びその周辺で行うことを要望します。

また、この中において、次世代自動車や航空宇宙産業等の展示など、東海地方のものづくりの最新技術をPRできるよう併せて要望します。

3. 中部国際空港の整備

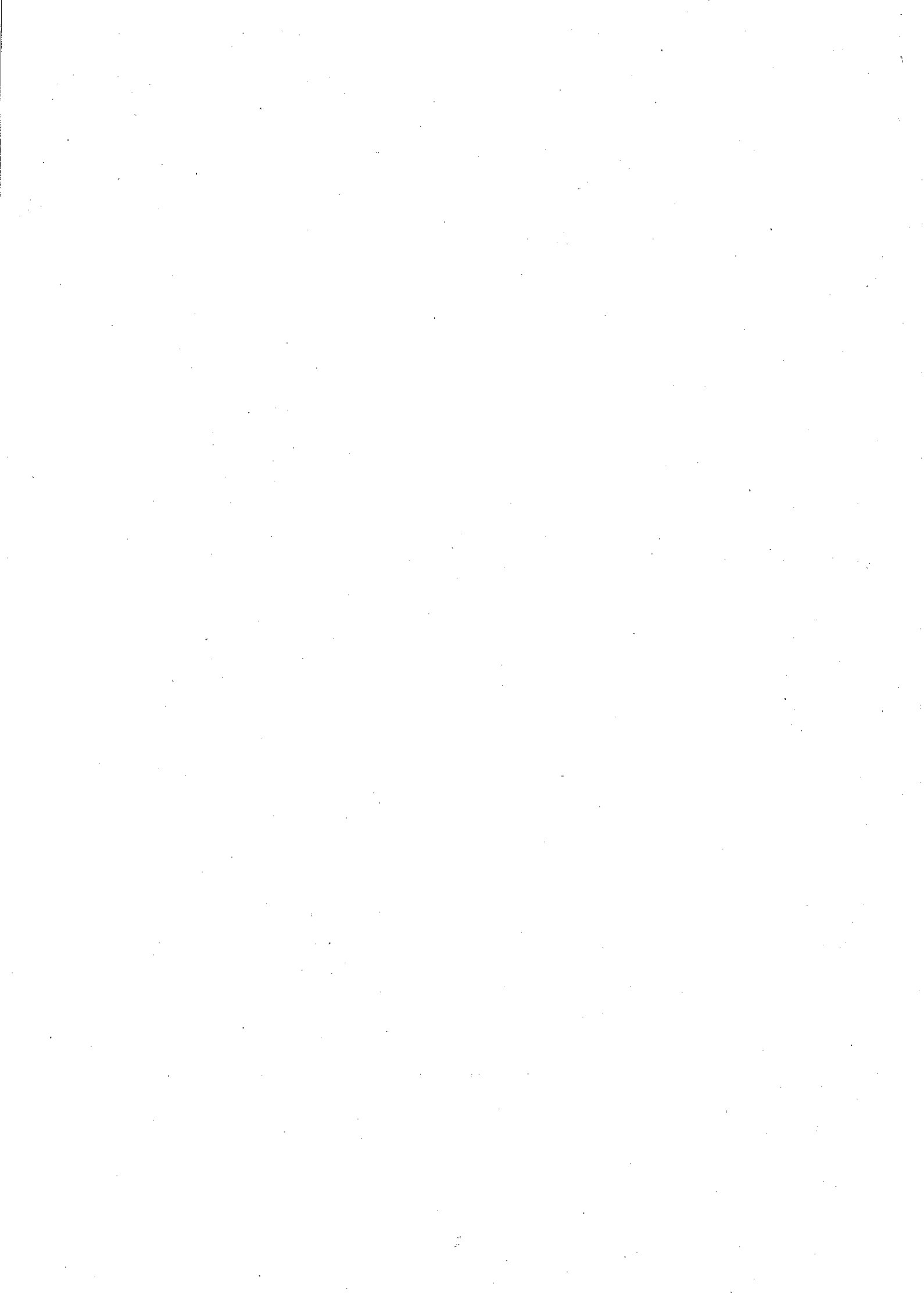
「伊勢志摩サミット」の開催に向けて、海外からの賓客をお出迎えするためにも、地域を挙げた一層の受入体制の整備が急務であり、特に訪日外国人の受入れの拡大に向けて、国とも連携・協力し、出入国手続の迅速化・円滑化等に取り組んでいく必要があります。

そのため、中部国際空港について、海外からの賓客をよりスムーズにお出迎えするために、C I Q（税関、出入国管理、検疫に関する手続き）の一層の充実やファーストレーンの設置をはじめとした機能強化を行うことを要望します。

4. 国際会議の開催

「伊勢志摩サミット」開催の経験を最大限に活用し、東海地方の国際会議開催地としての優位性を発信し、交流人口の拡大につなげていく必要があります。

そのため、「伊勢志摩サミット」開催を契機とし、サミットのテーマや東海地方の特性に関連する国際会議を開催することを要望します。



伊勢志摩サミット開催に向けた全体のスケジュール

実施項目	平成27年		平成28年		5月	6月				
	10月	11月	12月	1月			2月	3月	4月	
1. 体制	推進本部	第1回(12日)	予定あり	予定あり	予定あり	予定あり	予定あり	予定あり		
	推進本部・県民会議の開催	第2回(18日)	第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)	第18回(3日)
	県民会議			第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)
	県民会議			第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)
	県民会議			第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)
	県民会議			第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)
	県民会議			第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)
	県民会議			第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)
	県民会議			第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)
	県民会議			第4回(20日)	第6回(22日)	第8回(24日)	第10回(26日)	第12回(28日)	第14回(30日)	第16回(1日)
2. 協賛・応援・寄附金等	県民会議									
	県民会議									
3. 開催支援	国際交流センター									
	国際交流センター									
	国際交流センター									
	国際交流センター									
	国際交流センター									
	国際交流センター									
	国際交流センター									
	国際交流センター									
	国際交流センター									
	国際交流センター									
4. おもてなし	防災・消防									
	健康・医療									
	警備									
	交通調整									
	サミットボランティアの開催									
	おもてなし向上研修の実施(ボランティア研修と同様に実施)									
	ボランティアの開催									
	おもてなし向上研修の実施(ボランティア研修と同様に実施)									
	ボランティアの開催									
	おもてなし向上研修の実施(ボランティア研修と同様に実施)									
5. 明日へつなぐ	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
	国際関係・国際交流プログラム開発									
6. 三重の発信	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									
	県内各自治体・民間団体等における国際関係・交流の展開									

サミットの開催 26 27 日

開催

